

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○7月2日～

米国と各国との貿易摩擦問題は簡単には解決できそうにないため日本企業にも今後影響が出てくるかもしれません。

金融政策では、ユーロ圏の利上げは1年以上先ということでユーロに対してドルが強い状態がしばらく続く可能性があります。

政治面ではドイツ、イタリアなど欧州が不安定な状態になっているためユーロの動きも注意しておきたいです。

<ドル/円>

ドル/円は111円台では何度も頭打ちとなっています。
このあたりには週足の抵抗が来ているため大きくブレイクしていくには何か材料が必要です。下値が109円台を維持している間は堅調な動きが続きそうです。

<気になるクロス円>

先週末はユーロやポンドなどが大きく上昇しましたが日足の抵抗あたりまできているので反落には注意。

新興国通貨は底打ちの可能性も出てきているのでチャートの形を良く見ながら売買したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では日銀短観大企業製造業業況判断DIなどがあります。
米国ではISM製造業景況指数、小売売上高、ADP全国雇用者数、ISM非製造業景況指数、FOMC議事録、雇用統計などが発表されます。

欧州ではドイツで鉱工業生産、ユーロ圏で小売売上高などがあります。

ほかには、オーストラリアで政策金利、中国で製造業PMI（財新）の発表などがあります。